

奈良県ストップ温暖化「市民講座」開催される

2月22日、奈良県ストップ温暖化「市民講座」（奈良県主催）が香芝市のふたかみ文化センターで開催され、定員の50人を超える84人が参加した。

奈良県ストップ温暖化推進委員会の川辺恵美子さんは、「地球温暖化の影響が、奈良県でも出ている。例えば、平成14年の平均気温が平年値より0.8 高くなっており、桜の開花日も平年より11日程早くなっている。（奈良地方気象台のデータ）」

「対応の方法として、冷蔵庫の開閉回数を減らす、お風呂は続いて入る、テレビを見ない時は主電源をオフにする、エアコンは夏28、冬16に設定、クルマの利用を控える」などの推進を提唱した。

推進委員の前本サエ子さんが、環境家計簿（電気、ガス、水道水の使用量を記録し、CO₂発散量に換算）を付け光熱費削減に取り組んだ結果、1年で約3万円を節約できたことを発表。次に、浦川泰江さんは、

「石鹸の残り、ミカンの皮を布袋に入れて洗濯洗剤に使用したり、雨水、米のとぎ汁を花卉に与えている、生ゴミは堆肥にする」と発表した。

最後に、一人一人が省エネに努めて温暖化を防止することを皆で誓い合った。（上田）



奈良県ストップ温暖化推進委員の発表